

「きもの風、深化し市場拡大

コーディネート提案にも工夫

22年ゆかた・夏きもの主力商品企画

社名	ブランド・企画名	素材	ターゲット	価格
京ろまん	浴衣	東レセオアルファ	20~30代	3万~5万円
ふりふ	片身合わせ浴衣	ポリエステル	—	4万6200円
	猫物語	ポリエステル	—	4万6200円
	モクレン	ポリエステル	—	3万6300円
	クルエレ	ポリエステル	—	4万1800円
三松・しゃら	椿うさぎ	ポリエステル	—	3万6300円
	「結」をテーマとするゆかた	東レセオアルファ、 綿紅梅、絞り	—	仕立て上がり 3万9600~ 6万3800円
やまと	有松鳴海絞(きものやまと)	綿	—	7万2000円
	小千谷縮(きものやまと)	麻	—	4万円
	レース羽織(きものやまと)	合繊	—	3万円

大型連休が明け、きもの小売り各社がゆかたの販売を本格化している。ゆかた市場は20年のコロナ禍で感染拡大のタイミングがシーズンに重なったこともあり大きな打撃を受けているが、新ブランドの投入や前年比8割増の販売目標などを改めて市場拡大に打って出る構えが見られる。織研新聞社が行ったアンケートを中心に有力小売り各社の戦略をまとめた。アンケート回答企業は京ろまん、三松(三松・しゃら、ふりふ)、やまと(きものやまと)の3社。

ECへの取り組み進む

とや、この年でECへの取り組みが大きく進んだこともあり、売場の立ち上げ時期は、やまとが大型連休から、三松・しゃらは4月第一週、ふりふは4月上旬から、京ろまんは実需期に合わせ6月上旬からとしている。今期の目標は前年並みから8割増と幅広い。

取り組み進む

各社の主力商品は別表の通り、木綿や麻などの天然素材や「セオアルファ」など上質な合繊に凝った柄を染めたものが多く、価格的にも高級ゾーンが中心。各社ともオリジナルに注力しているのもポイントだ。

着こなしは、この数年のトレンドのきもの風の着こなし提案が豊富。なかでもレースの小物が各種や羽織など、おしゃれて涼しげに見えるレース使いのアイテムの広がりが特徴的だ。「博多の正絹夏帯、桐生の麻帯、琉球ミンサー帯など各産地との共同製作した商品によるコーディネート。アウターはレース羽織で軽やかさを、小物は麻半襟や麻足袋、夏らしいオリジナル帯留で夏のワンランク上の装いを提案」(やまと)。「レース素材の足袋、帯、羽織、3重仮もの小物とゆかたのコーディネート提案を強化」(三松・しゃら)。「ふりふはチュウリップレース羽織(4万7300円)、リボンぼつくり(2万5300円)など個性的なアイテムで独自性の高いコーディネート提案。京ろまんは正絹の半幅帯、夏らしいレース小物などを打ち出す。

ゆかたの情報発信の手段は、店頭とSNSやホームページなどウェブが主力。ホームページをはじめインスタグラムも全社が利用するほか、公式のツイッターやLINEも活用。また、そうしたウェブ情報と店舗を連携させる取り組みも広がっている。

新しい着用機会の提案

一方、ゆかた消費に直結する

全国の花火大会の中止が今年も相次いで発表されている。隅田川花火大会(東京)、なにわ淀川花火大会(大阪)をはじめ、5月上旬時点で全国で30以上の花火大会が中止を表明。主要な花火大会を含め3年連続で中止となっている例が多く、ゆかた消費の根幹を揺るがす事態となっている。感染状況の推移によって今後も中止や休止、延期の増加が予想され、予断を許さない状況が続く。こうした事態を受け、定番のイベントに頼らず独自にゆかたや夏きものを楽しむ機会の提案が増えている。三松・しゃらは、ゆかたやきもので1人または少人数でのお出かけを提案するインスタアカウント「きものさんぽ」を運営。ふりふは6月からYouTubeバーを用いた着用提案のプロモーションを開始する。やまとは「お祭りや花火大会に頼らず、夏の装いを楽しむ一つのファッションツールとして、きものでのお出かけ、着付けレッスンを通して日常での着用機会を提案」、京ろまんはサマーパーティーやゆかたで婚活などの自社イベントを企画し「きものと同様にファッションとしてゆかたを楽しむことを体験してもらう」ことを重視する。



格子窓

平原綾香さんのきもの大使任命式

日本きもの連盟

日本きもの連盟(奥山功会長理事)はこのほど東京都内のホテルで、きもの祝う女性の日の記念日登録ならびに平原綾香さんのきもの大使任命を記念したパーティーを開催し、400人を超えるきものファンや関係者が参加した。

きもので祝う女性の日は3月3日で登録されたが、まん延防止対策の関係で約2カ月遅れてのパーティーとなった。きもの

大会に頼らず、夏の装いを楽しむ一つのファッションツールとして、きものでのお出かけ、着付けレッスンを通して日常での着用機会を提案」、京ろまんはサマーパーティーやゆかたで婚活などの自社イベントを企画し「きものと同様にファッションとしてゆかたを楽しむことを体験してもらう」ことを重視する。

振袖小物で新提案発表

久保商事

久保商事はこのほど振袖用の和装小物の新作を発表した。レース使いの重ね襟や刺繍を加えたもの、ヒース使用など品揃えを充実。トレンドのくすみカラーが中心になっており、振袖以外のカジュアルな装いにも活用